

# デジタル人材養成講座

## アクセス解析実践コース

GA4基礎理解から  
生成AI活用分析&レポート自動作成まで

オンライン・少人数制だから  
どこからでも気軽に受講できます



そのコミュニケーションに最適解を。

NIPPON AGENCY

# そのデータ分析、「見るだけ」で終わっていませんか？



Google  
アナリティクスで  
数値を眺めるだけの  
『データの確認』  
から・・・

サイトが抱える  
具体的な問題点を  
発見し、  
対策できる  
『稼ぐサイト』へ。



# 本講座で手に入る「4つの武器」



## 確実性

「なんとなく」を卒業し、確実な「次の一手」が打てる。



## 洞察力

顧客の「隠れたニーズ」を検索ワードから察知する。



## AI活用

生成AI×GA4で、高度な分析を驚異的な「時短」で実現。



## 伝達力

レポート作成を自動化し、社内へ「一目で伝わる」報告を。

# データの裏にある「顧客心理」と「次の一手」

「なんとなく」ではなく論理的に。

データ分析が上手な人が実践している「課題解決型の思考法」と「仮説の作り方」を習得します。

「隠れたニーズ」を発掘。

サイトに辿り着いた検索キーワードや、最初に見たページ（ランディングページ）を分析することで、ユーザーが真に求めているコンテンツを企画できるようになります。



# 生成AI × GA4で、 分析時間を劇的に短縮

膨大なデータの分析は、もう人間だけで  
行う必要はありません。

- 生成AIに分析を依頼するための  
「データの作り方」
- 的確な回答を引き出す「依頼方法  
(プロンプトエンジニアリング)」
- GA4データのクロス分析× AIによる高速処理



# 「一目で伝わる」レポートを、 自動で。

## Looker Studio

毎回の手動集計は不要です。  
Looker Studioでビジュアル化された  
レポートを自動作成する方法を学びます。  
「一目で伝わるレポート」を社内報告や  
顧客への提案で提供できるようになります。



# 3日間の実践カリキュラム

## 01

### データ分析の基礎ロジック & GA4「レポート機能」攻略

- データ分析が上手な人がしていること
- GA4「レポート」機能の利用方法

## 02

### GA4「探索機能」攻略 & 生成AI活用データ分析

- GA4「探索」機能の利用方法
- 生成AIに分析依頼・相談するためのGA4データの作り方①

## 03

### 生成AI活用データ分析 & レポート作成の自動化

- 生成AIに分析依頼・相談するためのGA4データの作り方②
- レポートを「一目で伝わる」ようにする方法

レベル：基礎から応用・実践まで

# このような方に最適です

- 企業のWebサイト運営・管理を担当されている方
- マーケティング部門、広報部門に所属されている方
- 営業企画・事業企画など、Webからのリード創出に関わる方
- BtoB企業の経営者、役員、事業責任者の方



**受講料：200,000円（税別） / 名**

**今なら助成金活用で、受講料の最大75%が軽減**



**実質負担額 38,000円 / 名**

厚生労働省 人材開発支援助成金「事業展開等リスクリング支援コース」

- |       |                                   |    |
|-------|-----------------------------------|----|
| ①経費助成 | $200,000円 \times 75\% = 150,000円$ | 支給 |
| ②賃金助成 | $1,000円 \times 12時間 = 12,000円$    | 支給 |
| 助成額合計 | 162,000円                          | 支給 |

- ・本研修は助成金の受給を確約したものではありません。
- ・講座開催日の1ヶ月前までに地元労働局への申請が必要です。
- ・助成金の受給有無について、当社は責任を負いかねます。

# 2026年度 開催スケジュール

	開催日程	申込締切
第1期	4/23 (木)、5/14 (木)、5/28 (木)	3/16 (月)
第2期	6/25 (木)、7/9 (木)、7/23 (木)	5/18 (月)
第3期	8/27 (木)、9/10 (木)、9/29 (火)	7/21 (火)



時間：全日程13：00～17：00（3日間で12時間）

場所：日本エージェンシー本社セミナールーム  
もしくはオンライン（Zoom）

定員：各期5名まで

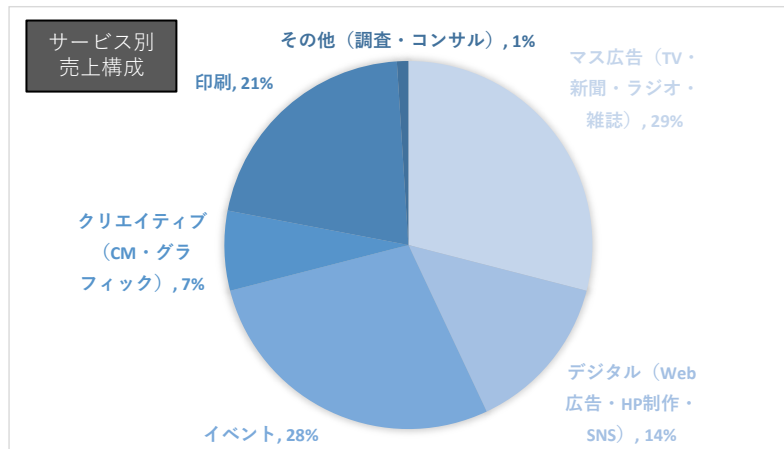


# 日本エージェンシーについて

(株)日本エージェンシーはマーケティングとクリエイティブを得意とする総合広告会社です。東京・金沢・富山・福井に拠点があり、幅広い業種のクライアント様との取引実績がございます。



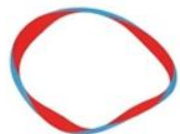
社名	株式会社日本エージェンシー
代表者	代表取締役社長 竹内 拓也
所在地	【本社】石川県金沢市新保本4-40 【東京営業本部】東京都中央区築地3-2-6 築地東陽ビル3F 【富山支局】富山県富山市黒瀬北町1-10-4 【福井支局】福井県福井市中央3丁目1-5 三谷中央ビル6F
設立	昭和47年10月
資本金	1億5000万円
社員数	57名
関連会社	株式会社アサソーディ・ケイ
加盟団体	ADKパートナーズネットワーク



## 【取引先業種】

行政機関、地方銀行・信用金庫、組合・団体、住宅・不動産、メーカー（日用品、アパレル・素材・繊維・機械・金属など）、自動車販売、家電量販店、小売専門店、GMS、ドラッグストア、外食チェーン、エネルギー（電力・ガス）、教育（大学・専門学校・学習塾）、旅館・ホテル、レジャー施設、プライダル、葬儀、病院・クリニック、人材派遣、IT・通信・ソフトウェア、フィットネスなど

# 運営・お問い合わせ



そのコミュニケーションに最適解を。

## NIPPON AGENCY

株式会社 日本エージェンシー

石川県金沢市新保本4-40

TEL 076-269-8111 (担当：大崎)

Email: [tosaki@nippon-ag.co.jp](mailto:tosaki@nippon-ag.co.jp)

# 参考資料

## 新規事業展開やDX推進等の人材育成に 「人材開発支援助成金」が活用できます ～ 「事業展開等リスティング支援コース」のご案内～

人材開発支援助成金は、事業主が雇用する労働者に対して訓練を実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成する制度です。「事業展開等リスティング支援コース」では、新たな事業の立ち上げなど事業展開等に伴い必要となる知識および技術を習得させるための訓練を助成の対象にしています。

### 支給対象

**対象者** 事業主：雇用保険適用事業所の事業主  
労働者：雇用保険被保険者

助成金の詳細  
はこちら→



### 訓練

- ① 訓練時間数が10時間以上であること
- ② OFF-JT（企業の事業活動と区別して行われる訓練）であること
- ③ 職務に関連した訓練で、以下のいずれかに該当する訓練であること

- i. 企業において**事業展開を行うにあたり、新たな分野で必要となる専門的な知識および技能の習得**をさせるための訓練
- ii. 事業展開は行わないが、事業主において**企業内のデジタル・デジタルトランスフォーメーション（DX）化やグリーン・カーボンニュートラル化を進めるにあたり、これに関連する業務に従事させる上で必要となる専門的な知識及び技能の習得**をさせるための訓練

注：本コースでは、事業展開などの内容を記載した「**事業展開等実施計画**」（様式第1～3号）を職業訓練実施計画書と併せて提出する必要があります。取り組み内容を整理し、具体的な記載ができるよう、事前に準備をお願いします。

注：「**事業展開**」は、訓練開始日から起算して、**3年以内に実施する予定のものまたは6か月以内に実施したものである**必要があります。

【参考】事業展開の例：新商品や新サービスの開発、製造、提供または販売を開始する 等  
デジタル・DX化の例：ITツールの活用や電子契約システムを導入し、社内のペーパーレス化を進めた 等  
グリーン・カーボンニュートラル化の例：農薬の散布にトラクターを使用していたが、ドローンを導入した 等

### 助成率・助成額

#### ① 助成率・助成限度額

経費助成率		賃金助成額（1人1時間）		1事業所1年度あたりの助成限度額
中小企業	大企業	中小企業	大企業	
75%	60%	1,000円	500円	1億円

#### ② 受講者1人あたりの経費助成限度額

10時間以上100時間未満		100時間以上200時間未満		200時間以上	
中小企業	大企業	中小企業	大企業	中小企業	大企業
30万円	20万円	40万円	25万円	50万円	30万円

注1：e-ラーニング、通信制、定額制サービスによる訓練は経費助成のみです。

注2：定額制サービスによる訓練の経費助成限度額は、受講者1人1月あたり2万円です。

### 例)新規事業のための人材育成を行った場合

#### 課題

1年後に先端技術(IoTや画像AI)を活用した安全監視のためのシステムを設計・開発・販売する事業を新たに立ち上げたいが、現在は対応できる人材が足りない。

#### 実施訓練

- 訓練コース  
AI技術の基礎および応用
- 訓練内容  
AIの基礎知識、機械学習等の訓練  
訓練時間：30時間（7.5時間×4日間）  
訓練経費：25万円/1人  
4人受講する場合：100万円/4人

### 助成内容・成果

#### 【助成率・額】

経費助成：75%（中小企業）  
賃金助成：1時間あたり1,000円（中小企業）

#### 【左記の訓練内容の場合の例】

- 経費  
経費助成：75万円（25万円×75%×4人）  
賃金助成：12万円（30時間×1,000円×4人）
- 成果  
無事に新規事業を立ち上げることができ、新技術を活用した新製品や新サービスの開発、製造等を開始することができた。

### 助成金受給のための手続きの流れ

#### Step0

職業能力開発推進者の選任、事業内職業能力開発計画の策定・自社の労働者に対する周知

- 事業内職業能力開発計画に基づき、職業訓練実施計画を作成する
- 作成した必要書類を**訓練開始日の6か月前から1か月前までの間に**管轄労働局に提出する

#### ■主な提出書類

所定の様式 (最寄りの労働局へ)	添付書類
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業訓練実施計画書</li> <li>・事業展開等実施計画</li> <li>・対象労働者一覧 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練内容を確認できるカリキュラム など</li> </ul>

#### Step2

#### 訓練実施

- 職業訓練実施計画に基づき訓練を実施する
- 支給申請までに、訓練にかかった経費全額を支払う

#### Step3

#### 支給申請 (最寄りの労働局へ)

- 訓練終了日の翌日から**2か月以内に**、必要書類を管轄労働局に申請する

#### ■主な提出書類

所定の様式	添付書類
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支給申請書、賃金助成の内訳等助成額を算定した書類</li> <li>・OFF-JT実施状況報告書 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練期間中の労働条件がわかるもの（雇用契約書の写しなど）</li> <li>・事業主が訓練費用を負担したことを確認できる振込通知書</li> <li>・出勤簿、タイムカード、賃金台帳の写し など</li> </ul>

### 【各都道府県労働局の助成金申請窓口】

■URL [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyo/kyufukin/toiawase2.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyo/kyufukin/toiawase2.html)

■スマホはこちら→

